

平成27年度学内版 GP 成果報告書

取組名称		反転授業導入によるマスプロ授業のアクティブ化
実施組織 (または対象のカリキュラム)		教育学部
※連携する他学部・機関がある場合は記入		
実施責任者(所属)		島田英昭(学術研究院教育学系)
取組の目標		マスプロ授業の中、反転授業の導入とアクティブラーニングの実践を行う。
1. 目標達成のために行った活動と成果 (箇条書きで項目ごとに番号を付けて記載。成果の詳細は必要に応じて別添とする)		1. 反転授業の方法、アクティブラーニングの方法について、資料から調査を行った。 2. 反転授業用の elearning 教材を作成した。 3. elearning 教材を学生のインターネット環境で視聴できる仕組みを開発した(eALPS 等の利用)。 4. elearning による予習をもとに、教室における演習を円滑に行う方法を考案した。 5. elearning による予習と教室におけるディスカッションを組み合わせた授業を合計6回実施した。 6. 授業の効果を学生による自由記述アンケートによって確かめた。 7. 成果をまとめ、教育実践報告として論文化し、出版した(島田英昭(2015). e ラーニングとグループディスカッションを取り入れたマスプロ授業のアクティブ化. 長野県国語国文学会研究紀要, 11, 140-147.)。※資料添付
2. 目標達成度に関わる所見と今後の展望 (達成の度合いを選び、そう評価する理由と今後の展望を記述)	a. 達成できた	(そう評価する理由) elearnig 講義と教室演習を組み合わせた反転授業を設計し、履修人数が 94 名の授業で実践を行ったことは、申請通りの内容が実施できたと言える。
		(今後の展望) 半期の取り組みの反省を生かして、細部を調整し、次年度以降の授業に反映させることができるようにする。現在、すでに具体的に取り組んでいる。